

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

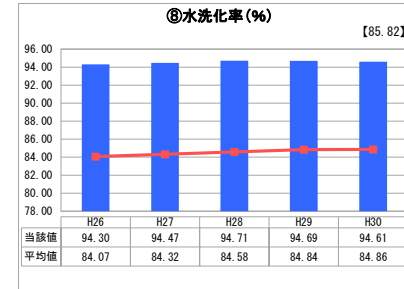
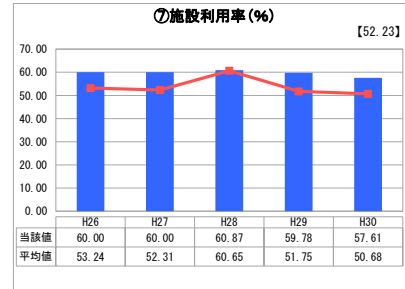
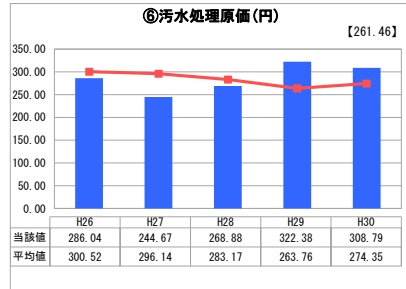
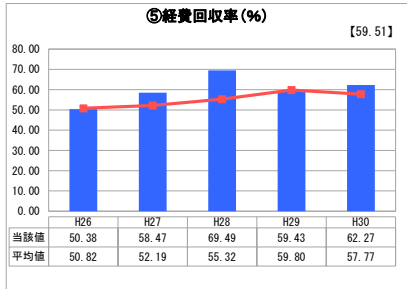
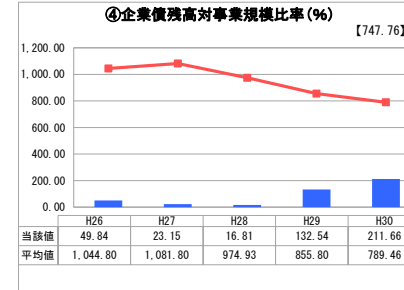
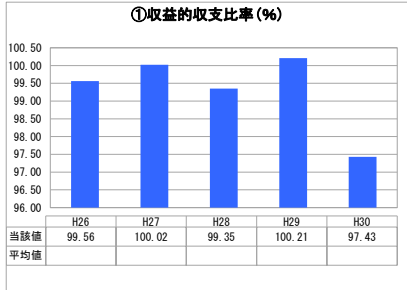
熊本県 苓北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.82	87.22	3,720

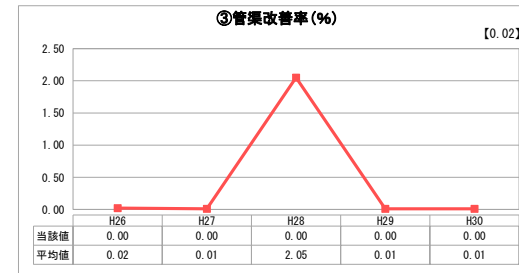
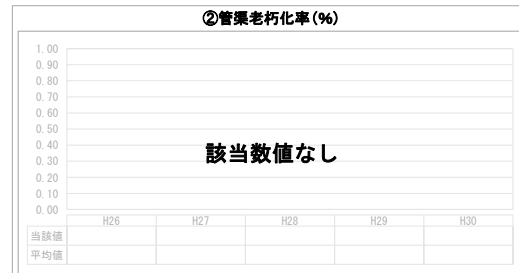
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,290	67.58	107.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
204	0.21	971.43

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成30年度の経営の健全性・効率性について、例年と比べ汚水処理費の増加に伴い、収益的収支比率の減少に繋がったと思われる。

ここ数年の水洗化率を見ると横ばいの状態である。しかし、施設利用率を見ると減少傾向にある。また、有収水量も減少傾向にある。このことから、各家庭における水道及び自家水の使用量が年々減少していることが考えられる。そのため、今後、健全で安定した処理を行う為、水洗化率の向上及び汚水処理経費の削減に努めなければならない。

### 2. 老朽化の状況について

平成11年・14年から供用開始し、20年が経過しようとしている。施設等の機器の故障はもちろん、管渠の老朽化も進んでいる。今後、安定した経営を行う為に管渠も定期的に更新する必要がある。突発的な修繕が起きないように最適化構想に基づき施設管理を行ってきたい。

## 全体総括

平成28年度に料金の改定を行い、以前と比べ経費回収率の向上を図ることができたが、有収水量の減少で年々減少すると予想される。また、施設の老朽化により修繕料・更新に関する費用が必ず発生する。その中で安定した経営を行う為、水洗化率の向上のための加入の促進、最適整備計画に沿った更新・修繕、経営戦略の策定を行い安定した経営を施設管理を行っていく。

経営戦略については、現在策定中である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。